

札幌市豊平区の印刷会社「丸吉日新堂印刷」(福住1の1)が、アフリカ・ザンビア共和国のバナナのくきを原材料にしたバナナペーパー製の名刺やはがきの製造を本格的に始める。現地の雇用創出と森林保護が目的で、同社の阿部晋也社長(40)は「商品化により、貧困と環境を救う取り組みを普及させたい」と話している。(佐野智子)

# バナナが原料 名刺やはがき

同社は8年ほど前か 伐材などを活用した ら、ペットボトルや間 「エコ名刺」を製造。

## 札幌の印刷会社 くき使い 本格製造



バナナの繊維の束を手に、「アフリカの雇用創出と森林保全を支えたい」と話す阿部社長

環境ブームを追い風に、受注を増やしている。環境コンサルタントのベオさんは環境ビジネスの講演などを行うかたわら、ザンビアに拠点を構え、保健医療

ザンビア産バナナペーパーは、同社のエコ名刺を使うスウェーデン人男性ベオ・エクベ

や環境教育に取り組み。昨年春、阿部社長から、バナナのくきが製紙原料に適している

と聞き、現地の原材料生産を提案した。阿部社長も「大量に廃棄されるバナナのく

きから現地の人たちが現金収入を得る手段をつくることで、ほかの樹木の違法伐採を減らすことができる」と協力を申し出た。

現在バンングラデシユ産のバナナペーパーも一部使っているが、ザンビア産が入荷する9月をめどに、本格的に製造を始める予定だ。同社ホームページ(<http://www.nissindou.co.jp>)でも紹介している。

現地の女性たちがくきから繊維を取り出し、乾燥させて日本に運び、埼玉県内の製紙工場で板紙に加工。丸吉日新堂ではこれを使

って名刺やパンフレットを印刷する。自然な風合いが特徴で、阿部社長は「名刺交換する際の話題づくりにもなるはず。環境や貧困問題へ理解が深まれば」と期待する。

東大大学院の会が9日午

から札幌(中央区北

議室で開か

エンレ

会の主催で

原発震災

1原発事故

ついて話

0円。定

## 元気な男女 コンサに力貸して

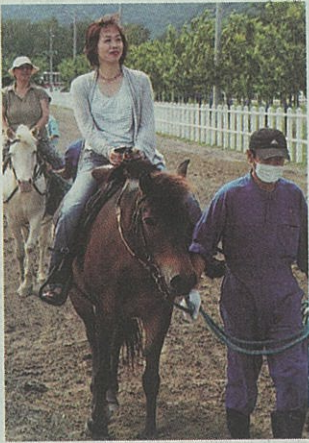
サッカーJリーグ2部(J2)のコンサドーレ札幌を運営する北海道フットボールクラブは、9日の愛媛戦(札幌厚別公園競技場)で男性対象の

大会

盛りがろう

歳以上の5人1組16チームで競う綱引き大会が開かれる。決勝はスタジアム内で行われ観客の前で腕力ナンバーワンチームを決める。また、幼稚園

16日の女子会では、当日にS.B自由席を2席1組2千円と格安で販売(200組限定)。スタジアムの飲食店で女性向けのメニューが登場する



引き馬による乗馬体験を楽しむ会員ら

## マンゴー栽培見学や乗馬

の育成、肉牛生産を行っている。農業視察以外の一般ツアー客を受け入れるのは初めて。会員らはマンゴーやパイナップルなど北海道で栽培が難しい南国果実が実る温室ハウスや、サンチュ、サラダ菜を効率的に育てる野菜工

札幌市の理製菓専門学校大通西校区大通西6時午後6時ランズ料理無料講習会開く。同校の学生が主催のマンゴー栽培見学や乗馬イベントが14日に開催される。申し込みは14日まで